

## 第 8 章 老後の安定した生活のために

## 1. 国民年金制度

国民年金制度は、日本に住所のあるすべての人を対象として、老齢・障害・死亡について年金などを支給し、健全な国民生活の維持・向上に寄与することを目的としています。

多くの人は働いているときに、貯蓄したり生命保険に入ったりして、老後や不慮の事故に備えています。しかし、平均寿命が延びて老後の生活期間が長くなったこと、核家族化が進んでいることなどから、自力だけで不安なく快適に余生を過ごすことが困難になっています。こうした中、安心・自立して老後を暮らすための社会的な仕組みとして、国民年金制度は大きな役割を担っています。

## 2. 国民年金の加入・保険料

### (1) 加入者

#### (ア) 強制加入者

##### ・第1号被保険者

国内に住所のある20歳以上60歳未満の人で自営業者や学生など

##### ・第2号被保険者

厚生年金保険の被保険者または各種共済組合の組合員

##### ・第3号被保険者

厚生年金保険または各種共済組合の組合員の被扶養配偶者で20歳以上60歳未満の人

#### (イ) 任意加入者

##### ① 国内に住所のある60歳以上65歳未満の人

##### ② 昭和40年4月1日以前に生まれた人で、65歳に達しても年金受給資格期間を満たしていない人(70歳になるまで)

##### ③ 外国にいる日本人で20歳以上65歳未満の人

### (2) 保険料

(ア) 保険料 1か月 16,520円(令和5年度)

(イ) 付加保険料 1か月 400円(将来受給する年金額を増やすため、定額保険料に上乗せして納めるもの)

### (3) 保険料の免除

保険料の免除には次の2つがあります。

#### (ア) 法定免除

生活保護法による生活扶助を受けている人や障害基礎年金の受給権者が対象で、該当届書を提出すれば免除されます。

# (イ) 申請免除

所得が少なく経済的に保険料の納付が困難な人は、免除申請書を提出して年金事務所の承認を受けます。なお、保険料の免除を受けた期間と年金額の関係は、下表のとおりです。免除の承認を受けた期間の保険料については、追納することにより、老齢基礎年金の年金額を増やすことができます。

## ○学生納付特例

下表のとおりですが、一定額以上の所得がある場合は、この制度は認められません。学生納付特例の承認を受けた期間の保険料については、追納することにより、老齢基礎年金の年金額を増やすことができます。

## ○納付猶予

年齢が20歳から49歳(学生を除く)の人で、所得(配偶者を含む)が一定額以下の場合に、申請により月々の保険料の納付が猶予されます。納付猶予の承認を受けた期間の保険料については、追納することにより、老齢基礎年金の年金額を増やすことができます。

表 免除制度ごとの対象者等の取扱い規定

区分 制度		対象者	年金請求時の免除及び資格期間への算入	年金額への算入割合	保険料の追納期間	所得審査の対象者(審査対象となる所得は前年分)
免除	全額	一般 (学生除く)	算入あり	1/2	10年以内 (3年目以降に追納する場合は加算額あり)	本人 配偶者 世帯主
	3/4			5/8		
	半額			3/4		
	1/4			7/8		
納付猶予		20～49歳 (学生除く)	算入なし	算入なし	2年以内	本人 配偶者
学生特例		学生				本人
未納者		被保険者				

### 3. 適用状況

#### (1)被保険者状況

(単位：人)

区分 年度	第 1 号			第 3 号 (C)	合計 (A+B+C)
	強制加入(A)	任意加入(B)	計(A+B)		
30	15,344	199	15,543	8,523	24,066
元	15,065	187	15,252	8,182	23,434
2	14,870	190	15,060	7,827	22,887
3	14,512	172	14,684	7,491	22,175
4	14,194	194	14,388	7,001	21,389

#### (2)付加年金加入状況

(単位：人)

区分 年度	被保険者数 (A) (法免・申免を除く)	強制加入 (B)	任意加入 (C)	計(D) (B+C)	加入率(%) (D)/(A)
30	9,594	8	754	762	7.94
元	9,169	10	729	739	8.06
2	8,941	11	718	729	8.15
3	8,525	7	711	718	8.42
4	8,267	6	724	730	8.83

#### (3)保険料免除者状況

(単位：人)

区分 年度	強制被保険 者数(A)	免 除 者 数			免 除 率 (%)		
		法免(B)	申免(C)	計(D)	法免(B/A)	申免(C/A)	計(D/A)
30	15,344	1,353	4,596	5,949	8.6	29.3	37.9
元	15,065	1,357	4,726	6,083	9.0	31.4	40.4
2	14,870	1,419	4,700	6,119	9.5	31.6	41.1
3	14,512	1,418	4,741	6,159	9.8	32.7	42.4
4	14,194	1,450	4,671	6,121	10.2	32.9	43.1

## (4)強制加入の資格取得状況

(単位：人)

区分 年度	学 生			適用もれ者			20歳到達者			公的年金 移 行 者		その他		計		
	対象者数	適用数	率 (%)	対象者数	適用数	率 (%)	対象者数	適用数	率 (%)	対象者数	適用数	対象者数	適用数	対象者数	適用数	率 (%)
30	707	707	100.0	1,474	1,474	100.0	557	557	100.0	2,038	2,038	822	561	5,598	5,337	95.3
元	424	424	100.0	1,407	1,407	100.0	944	944	100.0	2,125	2,125	805	536	5,705	5,436	95.3
2	2	2	100.0	1,239	1,239	100.0	1,196	1,196	100.0	1,928	1,928	642	505	5,007	4,870	95.3
3	1	1	100.0	1,140	1,140	100.0	1,188	1,188	100.0	2,007	2,007	574	478	4,910	4,814	97.3
4	0	0	0.0	1,148	1,148	100.0	1,145	1,145	100.0	2,030	2,030	687	427	5,010	4,750	94.8

## (5)納付実績

区分 年度	被保険者数 (第1号) (人)	納付対象月数 (月)	納付月数 (月)	納付率 (%)	納付額 (千円)
30	15,344	119,427	91,082	76.3	1,701,867
元	15,065	113,675	88,238	77.6	1,664,784
2	14,870	109,308	86,086	78.8	1,584,863
3	14,512	104,812	85,481	81.6	1,594,787
4	14,194	100,685	84,319	83.7	1,578,988

## 4. 国民年金の給付

### (1)年金の種類及び支給条件など

年金の種類	支給要件	年金額																
老 基 年 金 基 礎 金	<p>原則として、保険料を納めた期間と免除された期間及び合算対象期間をあわせて10年以上ある人は、65歳に達したときに支給されます。20歳から60歳に達するまでの40年間、すべての期間の保険料を納めた人の老齢基礎年金額は795,000円です。</p> <p>保険料納付期間が40年に不足する場合は、不足する期間に応じて減額されます。昭和16年4月1日以前に生まれた人は、加入可能年数をすべて納付していれば795,000円支給され、納付月数がそれよりも不足する場合は、不足する期間に応じて減額されます。</p> <p>老齢基礎年金は、65歳からの支給を原則としていますが、希望によって支給を繰り上げ、または繰り下げて受けることができます。</p>	<div>保険料納付月+保険料免除月数×(1/2~7/8)</div> <div>795,000円×<div>480月</div></div> <div>(平成13年4月1日から適用)</div> <div><div>・繰上げ支給率（60～65歳）</div><div>繰り上げた月数×0.4%減額（最大24%）</div><div>※昭和37年4月1日以前生まれの方は</div><div>繰り上げた月数×0.5%減額（最大30%）</div></div> <div><div>・繰下げ支給率（66～75歳）</div><div>繰り下げた月数×0.7%増額（最大84%）</div><div>※70歳以上は要件あり</div></div>																
障 害 基 年 金 基 礎 金	<p>国民年金加入者が病気やケガにより一定の障害の状態になり、その状態が固定したとき（その状態が固定しない場合は、初診日から1年6か月目）。</p> <p>ただし、初診日の前日において、次のいずれかの要件を満たしていることが必要です。①初診日のある月の前々月までの加入期間のうち保険料納付済期間と免除期間を合算して3分の2以上あること。②初診日において65歳未満であり、初診日のある月の前々月までの1年間に保険料の未納がないこと。</p>	<div>1級993,750円</div> <div>2級795,000円</div> <div>受給者によって生計を維持されている18歳未満の子がいる場合、次の額が加算されます。</div> <table><tr><th>加算対象の子</th><th>加算率</th></tr><tr><td>1人目・2人目 (1人あたり)</td><td>228,700円</td></tr><tr><td>3人目以降</td><td>76,200円</td></tr></table>	加算対象の子	加算率	1人目・2人目 (1人あたり)	228,700円	3人目以降	76,200円										
加算対象の子	加算率																	
1人目・2人目 (1人あたり)	228,700円																	
3人目以降	76,200円																	
遺 族 基 年 金 基 礎 金	<p>国民年金に加入している人または免除期間を含め、原則、納付済期間が25年以上ある人が死亡したとき、死亡した人によって生計を維持されていた①「子のある配偶者」、②「子」に支給されます。「子」は、18歳未満到達年度の末日（3月31日）を経過していない子や20歳未満で障害年金の障害等級1級または2級の子。</p> <p>ただし、死亡日のある月の前々月までの加入期間のうち、保険料納付済期間（免除された期間を含む）が3分の2以上なければなりません。</p>	<div>795,000円</div> <div>子のある妻の場合子の子のみの場合</div> <table><tr><th>子の数</th><th>加算額</th><th>子の数</th><th>加算額</th></tr><tr><td>1人</td><td>228,700円</td><td>1人</td><td>—円</td></tr><tr><td>2人</td><td>457,400円</td><td>2人</td><td>228,700円</td></tr><tr><td>3人目以降</td><td>1人につき76,200円</td><td>3人目以降</td><td>76,200円</td></tr></table>	子の数	加算額	子の数	加算額	1人	228,700円	1人	—円	2人	457,400円	2人	228,700円	3人目以降	1人につき76,200円	3人目以降	76,200円
子の数	加算額	子の数	加算額															
1人	228,700円	1人	—円															
2人	457,400円	2人	228,700円															
3人目以降	1人につき76,200円	3人目以降	76,200円															
寡 婦 年 金	<p>老齢基礎年金の受給資格期間を満たした夫が、年金を受けずに死亡した場合に、10年以上継続して婚姻期間にあり、生計維持されていた妻が受けることができます。</p>	<p>夫の第1号被保険者の期間について計算した老齢基礎年金の額の4分の3が支給されます。</p>																
死 亡 一 時 金	<p>3年以上国民年金の保険料を納めた人の老齢基礎年金・障害年金のいずれも受けないで死亡したとき、生計を同じくしていた遺族に遺族基礎年金が支給されない場合に支給されます。</p> <p>★寡婦年金と死亡一時金はいずれかを選ぶことができます。</p>	<table><tr><th>保険料納付済月数</th><th>金 額</th></tr><tr><td>3年以上15年未満</td><td>120,000円</td></tr><tr><td>15年以上20年未満</td><td>145,000円</td></tr><tr><td>20年以上25年未満</td><td>170,000円</td></tr><tr><td>25年以上30年未満</td><td>220,000円</td></tr><tr><td>30年以上35年未満</td><td>270,000円</td></tr><tr><td>35年以上</td><td>320,000円</td></tr></table>	保険料納付済月数	金 額	3年以上15年未満	120,000円	15年以上20年未満	145,000円	20年以上25年未満	170,000円	25年以上30年未満	220,000円	30年以上35年未満	270,000円	35年以上	320,000円		
保険料納付済月数	金 額																	
3年以上15年未満	120,000円																	
15年以上20年未満	145,000円																	
20年以上25年未満	170,000円																	
25年以上30年未満	220,000円																	
30年以上35年未満	270,000円																	
35年以上	320,000円																	

(2)基礎年金等の受給者と年金額

年度末現在(単位:千円)

区 分 年 度		老 齢 給 付			障 害 給 付			
		老 齢 年 金	老 齢 基 礎 年 金	小 計	障 害 年 金	障 害 基 礎 年 金 (拠 出)	障 害 基 礎 年 金 (無 拠 出)	小 計
30	件 数	1,950	50,478	52,428	77	676	1,509	2,262
	年金額	679,973	33,228,606	33,908,579	69,162	568,713	1,313,413	1,951,288
元	件 数	1,671	50,223	51,894	70	689	1,515	2,274
	年金額	592,288	32,773,522	33,365,810	62,603	581,205	1,317,461	1,961,269
2	件 数	1,411	53,666	55,077	68	709	1,553	2,330
	年金額	501,650	37,785,171	38,286,821	61,363	598,162	1,350,511	2,010,036
3	件 数	1,164	53,719	54,883	64	713	1,561	2,338
	年金額	415,203	37,815,928	38,231,131	57,396	599,969	1,354,369	2,011,734
4	件 数	958	53,514	54,472	61	732	1,566	2,359
	年金額	343,350	37,587,638	37,930,988	54,251	611,902	1,351,206	2,017,359

区 分 年 度		遺 族 給 付				総 数	死 亡 一時金
		母 子 年 金	寡 婦 年 金	遺 族 基 礎 年 金	小 計		
30	件 数	0	29	19	48	54,738	22
	年金額	0	12,315	20,264	32,579	35,892,446	2,907
元	件 数	0	28	21	49	54,217	28
	年金額	0	11,886	21,064	32,950	35,360,029	3,968
2	件 数	0	23	20	43	57,450	26
	年金額	0	9,649	21,406	31,055	40,327,912	3,337
3	件 数	0	25	21	46	57,267	31
	年金額	0	10,577	21,941	32,518	40,275,383	4,687
4	件 数	0	31	20	51	56,882	32
	年金額	0	12,733	21,151	33,884	39,982,231	4,673

(3)老齡福祉年金支給状況

年度末現在(単位:千円)

年度 \ 区分	件 数	年 金 額
30	0	0
元	0	0
2	0	0
3	0	0
4	0	0

(4)保険料の納付形態

(単位:人)

年度 \ 区分	口座振替 (A)	自主納付 (B)	合 計 (C)	割 合 (%)	
				(A/C)	(B/C)
30	5,003	4,910	9,913	50.47	49.53
元	4,789	4,680	9,469	50.58	49.42
2	4,696	4,525	9,221	50.93	49.07
3	4,636	4,166	8,802	52.67	47.33
4	4,571	3,949	8,520	53.7	46.3